



(様式第 9)

高大医医第 117 号
平成 23 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人高知大学
医学部附属病院長 杉浦

高知大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	45人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	168人	135人	292.7人	看護補助者	50人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	7人	7人	13.6人	理学療法士	9人	臨床検査技師	41人
薬剤師	27人	0人	27.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助産師	7人	3人	10.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	452人	68人	513.5人	臨床工学技士	14人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	0人	3人	3.0人	栄養士	1人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	1人	3人	4.0人	歯科技工士	2人	事務職員	95人
管理栄養士	5人	1人	6.0人	診療放射線技師	28人	その他の職員	45人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。
- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	464.0人	11.2人	475.2人
1日当たり平均外来患者数	1006.5人	72.6人	1079.1人
1日当たり平均調剤数		831.9剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 該当なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	50人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	19人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	34人	・原発性胆汁性肝硬変	23人
・全身性エリテマトーデス	126人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	3人	・特発性大腿骨頭壊死症	32人
・再生不良性貧血	21人	・混合性結合組織病	20人
・サルコイドーシス	66人	・原発性免疫不全症候群	4人
・筋萎縮性側索硬化症	17人	・特発性間質性肺炎	14人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	152人	・網膜色素変性症	15人
・特発性血小板減少性紫斑病	45人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	20人	・肺動脈性肺高血圧症	6人
・潰瘍性大腸炎	62人	・神経線維腫症	7人
・大動脈炎症候群	7人	・亜急性硬化性全脳炎	2人
・ビュルガー病	10人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	18人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6人
・脊髄小脳変性症	33人	・ライソゾーム病	6人
・クローン病	28人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	63人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	11人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	0人
・後縦靭帯骨化症	48人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	8人	・ミトコンドリア病	1人
・ウェゲナー肉芽腫症	3人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	25人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	10人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	23人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・画像支援ナビゲーション手術	・
・乳がんのセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	月8回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 26例 / 剖検率 13.76%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
非アルコール性脂肪肝炎の病態進展にレニン・アンジオテンシン系が及ぼす影響	廣瀬 享	消化器内科学	1,820,000	⑤ 文部科学省
非アルコール性脂肪肝炎発症におけるKupffer細胞の2面性機能異常の重要性	小野 正文	内科(消化器)	780,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
通常食で自然肝発癌する非アルコール性脂肪肝炎モデルマウスにおける発癌の分子機構	西原 利治	消化器内科学	1,430,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
非アルコール性脂肪性肝患者の病態解明と診断法、治療法の開発に関する研究	西原 利治	消化器内科学	1,500,000	⑤ 大阪府済生会次田病院 厚生労働科学研究費
再生医療技術を応用した腎尿管の再生・修復による急性腎不全の新規治療薬の開発	井上 紘輔	内科(内分泌代謝・腎臓)	910,000	⑤ 文部科学省
糖代謝制御機構を標的とする抗癌治療戦略の構築	田口 崇文	内分泌代謝・腎臓内科学	1,300,000	⑤ 文部科学省
再生医学による急性腎障害での尿管再生への新規治療法の開発	緒方 巧二	内科(内分泌代謝・腎臓)	1,500,000	⑤ 文部科学省
再生医療技術を応用した腎尿管の再生・修復による急性腎不全の新規治療法の開発	寺田 典生	内分泌代謝・腎臓内科学	2,600,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
腎疾患におけるオートファジー・リソゾーム系の病態への関与	寺田 典生	内分泌代謝・腎臓内科学	900,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
糖尿病及び関連疾患の診断法及び検査・診断装置の開発～タンパク質レベルのマーカー検査法の開発と高感度シグナル増幅法の開発～	寺田 典生	内分泌代謝・腎臓内科学	2,000,000	⑤ とくしま産業振興機構
家族性サイログロブリン遺伝子異常症の調査	西山 充	内分泌代謝・腎臓内科学	107,100	⑤ 四万十町
造血幹細胞移植後のヒトヘルペスウイルス6脳炎に対する適切な診断方法の確立	谷口 亜裕子	血液・呼吸器内科学	2,080,000	⑤ 文部科学省
分裂期キナーゼを標的とした新規造血器悪性腫瘍治療戦略	池添 隆之	内科(血液・呼吸器)	1,430,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
白血病幹細胞を標的とした新規治療法の開発	池添 隆之	内科(血液・呼吸器)	2,000,000	⑤ (財)藤井節郎記念 大阪基礎医学研究奨励会
同一病因遺伝子変異を持つ肥大型心筋症患者における病態修飾因子の検討	久保 亨	老年病・循環器・神経内科学	780,000	⑤ 文部科学省
心筋症の病因と病態進展機構の究明に関する縦断的研究	土居 義典	老年病・循環器・神経内科学	910,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
高知県における心筋症の病因・病態評価と遺伝カウンセリングの実施：高知心筋症ネットワーク活動の展開	久保 亨	老年病・循環器・神経内科学	500,000	⑤ 公益信託高知新聞・高知放送
慢性活動性EBウイルス感染症に対する病態解明に基づく治療戦略に関する研究	脇口 宏	小児思春期医学	2,080,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
我が国における日本脳炎の現状と今後の予防戦略に関する研究	脇口 宏	小児思春期医学	1,300,000	⑤ 国立感染症研究所 厚生労働科学研究費
慢性活動性EBウイルス感染症の診断法と治療法確立に関する研究	脇口 宏	小児思春期医学	2,200,000	⑤ 国立成育医療センター 厚生労働科学研究費
乳幼児致死性不整脈の発症の早期各県に携帯型心電計が有用であるか	山本 雅樹	小児科	400,000	⑤ (財)森永奉仕会
高校生1万人のメンタルヘルスサポートシステムの構築について	下寺 信次	神経精神科学	2,730,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
統合失調症の未治療期間とその予後に関する疫学的研究	下寺 信次	神経精神科学	1,500,000	⑤ 東邦大学 厚生労働科学研究費
うつ病の最適治療戦略を確立するための大規模多施設共同研究	下寺 信次	神経精神科学	3,000,000	⑤ 京都大学 厚生労働科学研究費
かかりつけ医のための認知症の識別診断と疾患別治療に関する研究	上村 直人	神経精神科学	2,000,000	⑤ 熊本大学 厚生労働科学研究費
精神病初発症例の疫学研究および早期支援・早期治療法の開発と効果確認に関する臨床研究	下寺 信次	神経精神科学	2,100,000	⑤ 東京都立松沢病院 厚生労働科学研究費
健康長寿社会構築のための社会(医学)的、政策的、経済的調査分析と課題解決のための政策立案に係る包括的研究	上村 直人	神経精神科学	2,000,000	⑤ 独立行政法人 長寿医療研究センター
皮膚紫外線発癌における表皮角化細胞Stat3シグナルの関与	横川 真紀	皮膚科学	910,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
バリア破綻による皮膚炎発症の機序：表皮セラミド欠損マウスを用いた解析	佐野 栄紀	皮膚科学	1,300,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
乾癬の発症におけるTh17の役割	中島 喜美子	皮膚科	1,170,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
モデルマウスを用いた乾癬の病態解明及び治療薬の開発	樽谷 勝仁	皮膚科学	1,300,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
メタボリックシンドロームとしての乾癬-レプチンの関与について	中島 英貴	皮膚科学	2,730,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
関節症性乾癬モデルマウス作製とその解析	山本 真有子	皮膚科学	1,820,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
Stat3阻害剤による新規乾癬治療法の開発	三好 研	皮膚科学	1,690,000	⑤ 独立行政法人 日本学術振興会
白斑・白皮症の本邦における診断基準及び治療指針の確立	佐野 栄紀	皮膚科学	1,000,000	⑤ 大阪大学 厚生労働科学研究費

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
多血小板血漿含侵ゼラチンハイドロゲルを用いた新しい皮膚潰瘍治療法開発	高田 智也	皮膚科	400,000	補委 財団法人 日本リディアオリリー協会
新しい酵素標的・増感放射線療法KORTUCの腫瘍幹細胞に対する効果の検証	小川 恭弘	放射線医学	1,430,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
線維化関連分子を標的とした放射線誘発肺傷害の予防と治療	西岡 明人	放射線医学	1,690,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
過酸化水素水による低酸素癌細胞の放射線抵抗性の克服	刈谷 真禰	放射線医学	1,690,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
酸化ビリルビンを指標とした開心術後心筋酸化ストレスの評価	山本 正樹	外科(二)	1,170,000	補委 文部科学省
酸化ビリルビンを指標とした全身性炎症反応症候群での標的臓器内ラジカル生成の解明	岡田 浩晋	外科(二)	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
ATP感受性Kチャンネルを標的とした神経因性疼痛治療への試み	河野 崇	麻酔科蘇生科	3,250,000	補委 文部科学省
脳由来神経栄養因子に対するDNAデコイによる疼痛制御の基礎的研究	横山 正尚	麻酔科学	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
KATPチャンネルを標的とした神経因性疼痛治療への試み	河野 崇	麻酔科蘇生科	1,000,000	補委 (財) 横山臨床薬理研究助成基金
変形性膝関節症の疼痛発生機序における関節液の酸性化と末梢神経酸感知機構の役割	池内 昌彦	整形外科	650,000	補委 文部科学省
映像によるイメージトレーニングが大脳皮質及び脊髄前角細胞興奮性に及ぼす効果	谷口 慎一郎	整形外科	780,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
末梢神経電気刺激法による静脈血栓塞栓症の予防に関する臨床研究	泉 仁	整形外科	2,400,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
腰痛の診断、治療に関する研究「腰部椎管狭窄症の診断・治療法の開発」	谷 俊一	整形外科	1,200,000	補委 千葉大学 厚生労働科学研究費
骨粗鬆症椎体骨折に対する低侵襲治療法の開発	武政 龍一	整形外科	2,000,000	補委 東京医科歯科大学 厚生労働科学研究費
脊柱靭帯骨化症に関する調査研究	谷 俊一	整形外科	1,000,000	補委 慶應義塾大学 厚生労働科学研究費
脊髄障害性疼痛症候群の実態の把握と病態の解明に関する研究	谷 俊一	整形外科	500,000	補委 愛知医科大学 厚生労働科学研究費
虚弱高齢者のための児童・生徒参加型高齢者健診と運動器リハモデルに関する研究	谷 俊一	整形外科	400,000	補委 黒潮町
モデル動物を用いたロキソプロフェンパップ剤・テープ剤の慢性痛覚過敏発症阻止メカニズムの解析	谷 俊一	整形外科	3,250,000	補委 第一三共株式会社
末梢神経酸感知機構が関与する関節痛の解明	池内 昌彦	整形外科	2,000,000	補委 (財) 藤井節郎記念大阪基礎医学研究奨励会
アレルギー性結膜疾患における眼表面上皮バリアーの関与	福田 憲	眼科学	2,990,000	補委 文部科学省
自然免疫の制御による角膜感染に伴う炎症の抑制	角 環	眼科学	2,340,000	補委 文部科学省
アレルギー性結膜疾患発症におけるマクロファージの関与	福島 敦樹	眼科学	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
フォン・ヒッペルリンドウ病の病態調査と診断治療系確立の研究	福島 敦樹	眼科学	900,000	補委 高知大学 厚生労働科学研究費
アレルギーに関わる免疫担当細胞に対するレバミピドの抑制効果の検討	福島 敦樹	眼科学	2,600,000	補委 大塚製薬株式会社
嚥下障害の病態および重症度評価に基づいた嚥下障害治療指針の確立	兵頭 政光	耳鼻咽喉科学	910,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
嚥下内視鏡検査による嚥下機能評価基準の作成とその臨床応用に関する研究	西窪 加緒里	耳鼻咽喉科学	400,000	補委 日本音声言語医学会
悪性脳腫瘍に対する高力価レトロウイルスベクター産生システムの新たな構築による遺伝子治療法の開発	清水 恵司	脳神経外科学	1,300,000	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
3次元細胞培養したAR陰性前立腺癌細胞の遺伝子発現解析	田村 賢司	泌尿器科	2,080,000	補委 文部科学省
腎細胞癌における降圧薬ARBの腫瘍増殖作用の危険性の提唱	深田 聡	泌尿器科	2,080,000	補委 文部科学省
ラミニンα1, 腎細胞癌の新規癌胎児性抗原	辛島 尚	泌尿器科学	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
フォン・ヒッペルリンドウ病の病態調査と診断治療系確立の研究	執印 太郎	泌尿器科学	10,000,000	補委 国立保健医療科学院 厚生労働科学研究費
がん医療経済的解析を踏まえた患者負担の在り方に関する研究	執印 太郎	泌尿器科学	1,300,000	補委 東北大学 厚生労働科学研究費
5-アミノレブリン酸(5-ALA)による蛍光膀胱鏡を用いた膀胱癌の光力学的診断に関する多施設共同試験	執印 太郎	泌尿器科学	6,000,000	補委 社団法人日本医師会 厚生労働科学研究費
医療連携実践における情報の取扱いの変遷及び今後の在り方に関する研究	執印 太郎	泌尿器科学	4,000,000	補委 国立がん研究センター
尿路上皮腫瘍の光力学的スクリーニングシステムの新規開発	井上 啓史	泌尿器科学	1,300,000	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
赤外線観察カメラシステムを用いた口腔癌のセンチネルリンパ節同定法の開発	北村 直也	歯科口腔外科	1,170,000	補委 文部科学省
アンドロゲンレセプターを標的とした唾液腺癌の新規治療戦略	吉村 友秀	歯科口腔外科学	2,080,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (千円)	補助元又は委託元
口腔癌に対する低酸素標的療法を組み入れた化学・放射線治療の基礎的・臨床的検討	山本 哲也	歯科口腔外科学	4,680,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
口蓋癒合後の解離による口蓋裂発症メカニズムの解析	山田 朋弘	歯科口腔外科学	1,300,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
口腔扁平上皮癌の形質に関わるMicroRNAとその標的遺伝子の解析	山本 哲也	歯科口腔外科学	700,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
水熱ホットプレス法を応用した生体近似骨の顎骨再建への応用	山田 朋弘	歯科口腔外科学	1,001,000	補 独立行政法人 科学技術振興機構
急性冠症候群発症における好中球の役割に関する検討	公文 義雄	病態情報診断学 (検査部)	1,560,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
急性冠症候群発症におけるヘリコクター・ピロリ感染症の関与とその機序	杉浦 哲朗	病態情報診断学 (検査部)	780,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
クラビット錠・細粒特定使用成績調査「第9回抗菌剤感受性年次別推移の検討」	杉浦 哲朗	病態情報診断学	650,000	補 第一三共株式会社
多項目自動血球分析装置の性能評価	杉浦 哲朗	検査部	260,000	補 シスメックス
スジアオノリの有効成分による健康増進効果の実証実験事業	今村 潤	輸血部	1,700,000	補 四万十市
固定式全方向歩行訓練器の開発とその有用性調査	石田 健司	リハビリテーション部	7,020,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
リアルタイム積分筋電計の開発とメタボリック症候群への展開	石田 健司	リハビリテーション部	1,500,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会
Bedの下から回転盤が出て移乗動作を容易にする機器の開発	石田 健司	リハビリテーション部	500,000	補委 財団法人フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団
日本人における直腸肛門機能検査および超音波検査の正常範囲	味村 俊樹	骨盤機能センター	2,600,000	補委 独立行政法人 日本学術振興会

計 8.5件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gut 59 : 258-266, 2010.	Super paramagnetic iron Oxide MRI shows defective kupffer cell uptake function in non-alcoholic fatty liver disease.	Asanuma T, Ono M, Kubota K, Hirose A, Hayashi Y, Saibara T, Inanami O, Ogawa Y, Enzan H, Onishi S, Kuwabara M, Oben JA	第一内科
Bone Marrow Transplant 45 : 912-918, 2009.	Efficacy of bezafibrate for chronic GVHD of the liver after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Hidaka M, Iwasaki S, Matsui T, Kawakita T, Inoue Y, Sakai T, Harada N, Takemoto S, Nagakura S, Kiyokawa T, Takahashi M, Saibara T, Onishi S, Kawano F	第一内科
Clin J Gastroenterol 3 : 263-270, 2010.	The latest idea in NAFLD/NASH pathogenesis.	Ono M, Okamoto N, Saibara T	第一内科
Biochim Biophys Acta 1801 : 655-664, 2010.	Deletion of tumor necrosis factor- α receptor type 1 exacerbates insulin resistance and hepatic steatosis in aromatase knockout mice.	Toda K, Hayashi Y, Saibara T	第一内科
J Pharmacy and Pharmacology 62 : 241-246, 2010	Effects of Eribotrya japonica seed extract on oxidative stress in rats with non-alcoholic steatohepatitis.	Yoshioka Y, Hamada A, Jobu K, Yokota J, Onogawa M, Kyotani S, Miyamura M, Saibara T, Onishi S, Nishioka Y	第一内科
診断と治療 98 : 833-838, 2010.	NAFLD/NASH-コンセンサスとレコメンデーション.	岡本宣人, 宮本敬子, 西原利治	第一内科
病理と臨床 28 : 1245-1249, 2010.	NASHの病態と診断.	越智経浩, 速瀬啓純, 西原利治	第一内科
肝胆膵 60 : 907-913, 2010.	NASH関連遺伝子.	小野正文, 西原利治	第一内科
G. I. Research 18 : 213-217, 2010.	メタボリックシンドロームとNASH.	小野正文, 岡本宣人, 西原利治	第一内科

Adiposcience 25 : 68-75, 2010.	特集：NASHとアディポサイエンス 臨牀 病態・疫学から見た治療の展望.	小野正文, 岡本宣人, 西原利治	第一内科
内科 105 : 992-995, 2010.	NASH.	西原利治, 岡本宣人, 小野正文	第一内科
Medical Practice 27 : 1056-1057, 2010.	脂肪肝の惹起する自然免疫を介した恒常性の変化.	西原利治, 小野正文, 大西三朗	第一内科
カレントセラピー 28 : 14-17, 2010.	NASH/NAFLDの疫学.	速瀬啓純, 麻植啓輔, 西原利治	第一内科
肝胆膵 60 : 1041-1053, 2010.	NASH/NAFLD診療の現状.	山田剛太郎, 西原利治, 田村信司, 富田謙吾	第一内科
Rheumatology 49 : 348-354, 2010.	Positron emission tomography/computed tomography : a clinical tool for evaluation of enthesitis in patients with spondyloarthritides	aniguchi Y, Arie K, Kumon Y, Fukumoto M, Ohnishi T, Horino T, Kagawa T, Kobayashi S, Ogawa Y, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Rheumatology 49 : 829-830, 2010.	Clinical implication of 18F-fluorodeoxyglucose PET/CT in monitoring disease activity in spondyloarthritis.	Taniguchi Y, Kumon Y, Arie K, Tsugita M, Fukumoto M, Ohnishi T, Kobayashi S, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Southern Medical Journal 103 : 277-278, 2010.	The activity of carotidynia syndrome is correlated with the soluble intracellular adhesion molecule-1 (sICAM-1) level.	Taniguchi Y, Horino T, Terada Y, Jinnouchi Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Clinical and Experimental Nephrology 14 : 112-122, 2010.	Cisplatin-induced macroautophagy occurs prior to apoptosis in proximal tubules in vivo.	Inoue K, Kuwana H, Shimamura Y, Ogata K, Taniguchi Y, Kagawa T, Horino T, Takao T, Morita T, Sasaki S, Mizushima N, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)

Endocrine Journal 57 : 317-324, 2010.	Hormonal regulation of acetyl-CoA carboxylase isoenzyme gene transcription.	Li Feng Z, Iwasaki Y, Wang Z, Nishiyama M, Taguchi T, Tsugita M, Kambayashi M, Hashimoto K, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 17: 925-933, 2010.	Serum fetuin-A is an independent marker of insulin resistance in Japanese men.	Ishibashi A, Ikeda Y, Ohguro T, Kumon Y, Yamanaka S, Takata H, Inoue M, Suehiro T, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Endocrinology 151 : 3204-3213, 2010.	Glucocorticoid receptor- β and receptor- γ exert dominant negative effect on gene repression but not on gene induction.	Taniguchi Y, Iwasaki Y, Tsugita M, Nishiyama M, Taguchi T, Okazaki M, Nakayama S, Kambayashi M, Hashimoto K, Terada Y	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Endocrine Journal 57 : 403-413, 2010.	PPAR β/δ regulates the human SIRT1 gene transcription via Spl.	Okazaki M, Iwasaki Y, Nishiyama M, Taguchi T, Tsugita M, Nakayama S, Kambayashi M, Hashimoto K, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Pituitary 13 : 78-79, 2010.	Diagnostic value of ^{18}F -dihydroxyphenylalane positron emission tomography for growth hormone-producing pituitary adenoma.	Taguchi T, Takao T, Iwasaki Y, Oyama K, Yamada S, Inoue M, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Endocrinology 151: 4344-4355, 2010.	Regulation of glucocorticoid receptor transcription and nuclear translocation during single and repeated immobilization stress.	Noguchi T, Makino S, Matsumoto R, Nakayama S, Nishiyama M, Terada Y, Hashimoto K.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Bone 47: 534-541, 2010.	Involvement of GCMB in the transcriptional regulation of the human parathyroid hormone gene in a parathyroid-derived cell line PT-r Effects of calcium and $1,25(\text{OH})_2\text{D}_3$.	Kawahara M, Iwasaki Y, Sakaguchi K, Taguchi T, Nishiyama M, Nigawara T, Kambayashi M, Sawada T, Jing X, Miyajima M, Terada Y, Hashimoto K, Suda T	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)

Scand J Rheumatol 39 : 179-180, 2010.	Acute pulmonary arterial hypertension associated with anti-synthetase syndrome.	Taniguchi Y, Horino T, Kato T, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
J Neurooncol 100:321-322, 2010.	Rapid recurrence of craniopharyngioma following recombinant human growth hormone replacement.	Taguchi T, Takao T, Iwasaki Y, Pooh K, Okazaki M, Hashimoto K, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Clinical Neurology and Neurosurgery 112:455-456, 2010.	Hypoglycemic encephalopathy as a result of an attempted suicide.	Taguchi T, Mizobuchi M, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
J Infect 61:95-96, 2010.	Coincidental double erythema caused by <i>Vibrio vulnificus</i> .	Taguchi T, Mizobuchi M, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Lupus 19:650-654, 2010.	IgA nephropathy in a patient with systemic lupus erythematosus.	Horino T, Takao T, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Mod Rheumatol 20 : 287-290, 2010.	A case of post-streptococcal reactive arthritis in which lesions were detected with [18F] - fluorodeoxyglucose positron emission tomography-CT imaging and magnetic resonance imaging.	Horino T, Takao T, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)

Rheumatology 49:394-396, 2010.	HLA-B51-related seronegative spondyloarthropathy associated with membranous nephropathy.	Horino T, Nakayama S, Takao T, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Metabolism Clinical and Experimental 59:1287-1293, 2010.	Role of protein kinase C in pitavastatin-induced human paraoxonase I expression in Huh7 cells.	Arii K, Suehiro T, Ikeda Y, Kumon Y, Inoue M, Inada S, Takata H, Ishibashi A, Hashimoto K, Terada Y.	内科(内分泌代謝・腎臓) (第二内科)
Mol Cancer Ther. 9: 3386-95, 2010	AZ960, a novel Jak2 inhibitor, induces growth arrest and apoptosis in adult T-cell leukemia cells.	Yang J, Ikezoe T, Nishioka C, Furihata M*, Yokoyama A	第三内科
Int J Cancer. 128(10): 2317-25, 2011	Inhibition of STAT5 by the inhibitor of janus kinases stimulates dormant human leukemia CD34(+)/CD38(-) cells and sensitizes them to anti-leukemia agents.	Ikezoe T, Yang J, Nishioka C, Kojima S, Takeuchi A, Koeffler HP, Yokoyama A.	第三内科
Leukemia. 24: 1631-40, 2010	Long-term exposure of leukemia cells to multi-targeted tyrosine kinase inhibitor induces activations of AKT, ERK and STAT5 signaling via epigenetic silencing of the PTEN gene.	Nishioka C, Ikezoe T, Yang J, Yokoyama A	第三内科
Exp Hematol. 38(8):666-76, 2010	Inhibition of mTORC1 by RAD001 (everolimus) potentiates the effects of 1,25-dihydroxyvitamin D(3) to induce growth arrest and differentiation of AML cells in vitro and in vivo.	Yang J, Ikezoe T, Nishioka C, Ni L, Koeffler HP, Yokoyama A.	第三内科

Apoptosis. 15(7):795-804, 2010	Inhibition of MEK/ERK signaling induces apoptosis of acute myelogenous leukemia cells via inhibition of eukaryotic initiation factor 4E-binding protein 1 and down-regulation of Mcl-1.	Nishioka C, Ikezoe T, Yang J, Yokoyama A.	第三内科
Thorax. 65(4):334-40, 2010	Suppression of plasminogen activator inhibitor-1 by RNA interference attenuates pulmonary fibrosis.	Senoo T, Hattori N, Tanimoto T, Furukawa M, Ishikawa N, Fujitaka K, Haruta Y, Murai H, Yokoyama A, Kohno N.	第三内科
Chest. 139(2): 296-304, 2011	Mucins carrying selectin ligands as predictive biomarkers of disseminated intravascular coagulation complication in ARDS.	Nakashima T, Yokoyama A, Inata J, Ishikawa N, Haruta Y, Hattori N, Kohno N	第三内科
今日の治療指針2010年版 (Volume 52), 338-339, 2010	特定心筋症 (特定心筋疾患)	土居義典	老年病科
循環器疾患 最新の治療2010-2011, 186-190, 2010	肥大型心筋症	久保 亨, 土居義典	老年病科
循環器治療薬ハンドブック, 523-528, 2010	肥大型心筋症の治療戦略	大川真理, 土居義典	老年病科
循環器病学 基礎と臨床, 976-993, 2010	肥大型心筋症	久保 亨, 大川真理, 北岡裕章, 土居義典	老年病科
Int Heart J, 51, 51-55, 2010	Plasma adiponectin levels and left ventricular remodeling in hypertrophic cardiomyopathy.	Kitaoka H, Kubo T, Okawa M, Yamasaki N, Matsumura Y, Nishinaga M, Doi YL	老年病科

Circ J, 74, 1191-1196, 2010	Impact of metalloproteinases on left ventricular remodeling and heart failure events in patients with hypertrophic cardiomyopathy.	Kitaoka H, Kubo T, Okawa M, Hayato K, Yamasaki N, Matsumura Y, Doi YL	老年病科
Acta Neurol Scand, doi: 10.1111/j.1600-0404.2010.01442.x. [Epub ahead of print]	Prevalence of Parkinson's disease and atypical parkinsonian syndromes in a rural Japanese district.	Osaki Y, Morita Y, Kuwahara T, Miyano I, Doi Y	老年病科
Brain, 133, 2881-2896, 2010	Clinicopathological features of acute autonomic and sensory neuropathy.	Koike H, Atsuda N, Adachi H, Iijima M, Katsuno M, Yasuda T, Fukada Y, Yasui K, Nakashima K, Horiuchi M, Shiomi K, Fukui K, Takashima S, Morita Y, Kuniyoshi K, Hasegawa Y, Toribe Y, Kajiura M, Takeshita S, Mukai E, Sobue G	老年病科
J Cardiol, 56, 314-319, 2010	Gender-specific differences in the clinical features of hypertrophic cardiomyopathy in a community-based Japanese population: Results from Kochi RYOMA study.	Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Hirota T, Hayato K, Yamasaki N, Matsumura Y, Yabe T, Doi YL	老年病科
Clin Cardiol, 33, E1-E7, 2010	Serum cardiac troponin I is related to increased left ventricular wall thickness, left ventricular dysfunction, and male gender in hypertrophic cardiomyopathy.	Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Yamanaka S, Hirota T, Hoshikawa E, Hayato K, Yamasaki N, Matsumura Y, Yasuda N, Sugiura T, Doi YL	老年病科
Hypertension Research, 33, 678-682, 2010	Association between brachial-ankle pulse wave velocity and 3-year mortality in community-dwelling older adults.	Miyano I, Nishinaga M, Takata J, Shimizu Y, Okumiya K, Matsubayashi K, Ozawa T, Sugiura T, Yasuda N, Doi Y	老年病科

Geriatr Gerontol Int, 10, 219-224, 2010	3-hydroxy-3-methylglutaryl coenzyme A reductase inhibitors prevent the progression of renal dysfunction in Japanese hypertensive patients.	Kuwabara M, Kubo T, Bando K, Hirakawa Y, Kitaoka H, Nishinaga M, Doi YL	老年病科
Clin Cardiol, 33, E24-E28, 2010	Clinical features of the dilated phase of hypertrophic cardiomyopathy in comparison with those of dilated cardiomyopathy.	Hamada T, Kubo T, Kitaoka H, Hirota T, Hoshikawa E, Hayato K, Shimizu Y, Okawa M, Yamasaki N, Matsumura Y, Yabe T, Takata J, Doi YL	老年病科
J Cardiol, 56, 59-65, 2010	A novel cardiac myosin-binding protein C S297X mutation in hypertrophic cardiomyopathy.	Hirota T, Kubo T, Kitaoka H, Hamada T, Baba Y, Hayato K, Okawa M, Yamasaki N, Matsumura Y, Yabe T, Doi YL	老年病科
J Cardiol, 56, 189-196, 2010	A frameshift deletion mutation in the cardiac myosin-binding protein C gene associated with dilated phase of hypertrophic cardiomyopathy and dilated cardiomyopathy.	Hitomi N, Kubo T, Kitaoka H, Hirota T, Hamada T, Hoshikawa E, Hayato K, Okawa M, Kimura A, Doi YL	老年病科
Ultrasound Med Biol, 36, 1769-1775, 2010	Abdominal visceral fat thickness measured by ultrasonography predicts the presence and severity of coronary artery disease.	Hamagawa K, Matsumura Y, Kubo T, Hayato K, Okawa M, Tanioka K, Yamasaki N, Kitaoka H, Yabe T, Nishinaga M, Doi YL	老年病科
Progress in Medicine, 30, 1977-1979, 2010	エゼミチブは肥満を合併した脂質異常症患者に対して効果的である	桑原昌則、土居義典	老年病科
J Cardiol Jpn Ed, 55, 172-180, 2010	リアルタイム3次元心エコー法による左室容量・駆出率の自動計測	羽屋戸佳世, 穂積健之, 麻植浩樹, 松村嘉起, 新井光太郎, 杉岡憲一, 山岸広幸, 大川真理, 松村敬久, 土居義典, 葭山稔, 吉川純一	老年病科

J Am Coll Cardiol, 55, 2877, 2010	Inflammatry abdominal aortic aneurysm successfully treated with steroid therapy.	Yabe T, Hamada T, Kubo T, Okawa M, Yamasaki N, Matsumura Y, Kitaoka H, Doi Y	老年病科
J Cardiol, 55, 125-129, 2010	Hemolytic anemia in a patients with hypertrophic obstructive cardiomyopathy.	Kubo T, Kitaoka H, Terauchi Y, Tamura S, Okawa M, Yamasaki N, Yabe T, Doi YL	老年病科
血圧, 17, 84-85, 2010	高知大学 老年病・循環器・神経内科学講座	西永正典	老年病科
Pharma Medica, 28, 161-167, 2010	パーキンソン病治療の真の評価とは	立花久大, 高橋一司, 大崎康史, 大塚千久美	老年病科
Geriatr Med, 48, 259-263, 2010	高齢者診療に活かすガイドラインのポイント: 第5回 心筋梗塞	山崎直仁, 土居義典	老年病科
Geriatr Gerontol Int, 10, 9-16, 2010	Hypertrophic cardiomyopathy in the elderly.	Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Nishinaga M, Doi YL	老年病科
医学のあゆみ, 233, 304-305, 2010	第74回日本循環器学会総会・学術集会緊急レポート Vol. 2	久保亨	老年病科
Medical Technology, 38, 339-345, 2010	心機能検査	羽屋戸佳世, 松村敬久, 土居義典	老年病科
日本小児腎不全学会雑誌, 30, 293-295, 2010	血漿中EBウイルスの検出は小児腎移植患者のPTLD発症の予測因子となるか	石原正行, 佐藤哲也, 三浦紀子, 前田明彦, 藤枝幹也, 脇口 宏, 久野正貴, 田中絵里子, 近本裕子, 秋岡祐子, 服部元史	小児科
小児内科, 42 (増), 601-604, 2010	紫斑病性腎炎 必携小児の薬の使い方 III. 疾患に対する薬剤の選び方・使い方と注意 G. 腎・泌尿器・生殖器疾患	石原正行, 藤枝幹也	小児科

Clin Nephrol, 73, 398-402, 2010	Four cases of postrenal renal failure induced by renal stone associated with rotavirus infection.	Morita T, Ashida M, Fujieda M, Hayashi A, Maeda A, Ohta K, Shimizu M, Sekine T, Igarashi T, Tamai H, Wakigichi H	小児科
腎とフリーラジカル 第10集: 121-126, 2010	シスプラチン腎症に対する α -tocopherolの効果	芦田 明, 白数明彦, 中倉兵庫, 松村英樹, 藤枝幹也, 成瀬桂史, 服部元史, 玉井 浩	小児科
日本小児体液研究会誌, 2, 20-22, 2010	生下時から腎石灰化を認めた、常染色体優性遺伝の疑われる副甲状腺機能低下の男児例	石原正行, 三浦紀子, 高杉尚志, 松下憲司, 藤枝幹也, 脇口 宏	小児科
日本小児腎臓病学会雑誌, 23, 13-20, 2010	小児におけるIgA腎症診断基準の考察	成瀬桂史, 林 篤, 大田敏之, 坂野 堯, 藤枝幹也, 城 謙輔	小児科
Drug Metabolism and Pharmacokinetics, 26(1), 71-78, 2011	Evaluation of Limited Sampling Designs to Estimate Maximal Concentration and Area under the Curve of Mizoribine in Pediatric Patients with Renal Disease.	Ishida K, Kaneda H, Uemura O, Ushijima K, Ohta K, Goto Y, Satomura K, Shimizu M, Fujieda M, Morooka M, Yamada T, Yamada M, Wada N, Takaai M, Hashimoto Y	小児科
日本小児科学会雑誌, 115(3), 546-551, 2011	ウイルス性胃腸炎の合併症 尿管結石閉塞による腎後性急性腎不全	藤枝幹也, 芦田 明	小児科
児童心理	子どもの「うつ」の臨床評価尺度と調査研究	泉本雄司、下寺信次	神経科精神科
思春期学	子どものこころ診療部とアーリーサイコシス外来の連携～子どものこころ診療部の活動を中心として～	泉本雄司、下寺信次	神経科精神科
神経内科	総論・基礎編 11. 社会的・制度的支援と家族介護 3) 認知症患者の運転免許	井関美咲、谷勝良子、上村直人	神経科精神科

CLINICIAN	認知症を取り巻く環境変化 認知症と運転免許に関するかかりつけ医の役割	井関美咲、上村直人	神経科精神科
日本社会精神医学会雑誌	これからの社会精神医学の研究	井上新平	神経科精神科
Early Intervention Psychiatry	Psychotic-like experiences (PLEs) and mental health status in twin and singleton Japanese high school students.	Oshima N, Nishida A, Fukushima M, Shimodera S, Kasai K, Okazaki Y, Sasaki T.	神経科精神科
老年期認知症研究会誌	認知症と自動車運転	上村直人、惣田聡子、岩崎美穂、今城由里子、澤田健、井上新平	神経科精神科
老年期認知症研究会誌	認知症と自動車運転－現状と課題－ Dementia and Driving in JAPAN –Present states and problems –	上村直人、井関美咲、今城由里子、下寺信次	神経科精神科
老年期認知症研究会誌	認知症と自動車運転 Dementia and driving	上村直人、谷勝良子、井関美咲、下寺信次、諸隈陽子	神経科精神科
精神科	Brain Science 認知症と自動車運転－医学的研究の最近の動向－	上村直人、下寺信次	神経科精神科
精神医学	「第14回日本神経精神医学会」印象記	上村直人	神経科精神科
最新精神医学	認知症高齢者の運転	上村直人、井関美咲	神経科精神科

Schizophrenia Research	Psychotic-like experiences are associated with violent behavior in adolescents.	Kinoshita Y and Shimodera S, Nishida A, Kinoshita K, Watanabe N, Oshima N, Akechi T, Sasaki T, Inoue S, Furukawa TA, Okazaki Y.	神経科精神科
臨床精神医学	うつ病の心理教育 患者と家族に伝えるべきこと	下寺信次、藤田博一、下寺由佳	神経科精神科
精神科	高知大学医学部神経精神科における「アーリーサイコーシス外来」	下寺信次、河村葵、片岡賢一	神経科精神科
精神科臨床サービス	心理教育③：訪問による家族心理教育 第4章専門家が知っておきたい基本技術	下寺信次	神経科精神科
日本医事新報	日常診療におけるうつ病と痛み	下寺信次	神経科精神科
Early Intervention Psychiatry	Clinical and social determinants of a longer duration of untreated psychosis of schizophrenia in a Japanese population.	Nishii H, Yamazawa R, Shimodera S, Suzuki M, Hasegawa T, Mizuno M	神経科精神科
Acta Psychiatr Scand	Psychotic-like experiences are associated with suicidal feelings and deliberate self-harm behaviors in adolescents aged 12-15 years.	Nishida A, Sasaki T, Nishimura Y, Tanii H, Hara N, Inoue K, Yamada T, Takami T, Shimodera S, Itokawa M, Asukai N, Okazaki Y.	神経科精神科
社会問題研究	統合失調症における家族心理教育の費用便益分析	三野善央、下寺信次、藤田博一、諸隈一平、米倉裕希子、何玲、周防美智子、山口創生、井上新平、馬場園明	神経科精神科
臨床精神薬理	精神疾患の早期発見と早期治療 座談会	水野雅文、小林啓之、下寺信次、松本和紀、Thomas H. McGlashan	神経科精神科

Psychiatry Clinical Neurosciences	Brief PANSS to assess and monitor the overall severity of schizophrenia.	Yamamoto N, Inada T, Shimodera S, Morokuma I, Furukawa TA.	神経科精神科
うつ病ハンドブック	6. 心理教育と家族援助	下寺信次	神経科精神科
専門医を目指す人の精神医学	第3章 D. 心理教育	下寺信次	神経科精神科
専門医を目指す人の精神医学	第8章 A-8 安定期の治療	井上新平	神経科精神科
Br J Psychiatry	Family psychoeducation reduced/recurrence of major depression: a randomized controlled trial.	下寺信次	神経科精神科
Schizophr Res	Psychotic-like experiences are associated with violent behavior in adolescents.	下寺信次	神経科精神科
J Clin Psychiatry	Brief Behavioral Therapy for Refractory Insomnia in Residual Depression: Assessor-Blind, Randomized Controlled Trial	下寺信次	神経科精神科
Journal of Pediatric Hematology/Oncology	A new glucose-6-phosphate dehydrogenase deficiency variant, G6PD Mizushima, showing increases in serum ferritin and cytosol leucine aminopeptidase levels.	Y. Suga	神経科精神科

Journal of Dermatological Science 57: 102-107, 2010	Epidermal triglyceride levels are correlated with severity of ichthyosis in Dorfman-Chanarin syndrome	Mayumi Ujihara , Kimiko Nakajima , Mayuko Yamamoto , Mika Teraishi , Yoshikazu Uchida , Masashi Akiyama , Hiroshi Shimizu , Shigetoshi Sano	皮膚科学
Clin Exp Dermatol 35: 791-792, 2010	Successful treatment of cutaneous Langerhans cell histiocytosis in adult with cyclophosphamide.	Nakajima K, Morisawa R, Kodama H, Sano S.	皮膚科学
月刊ナーシング4月増刊号「骨, 筋肉, 皮膚イラストレイテッド: 病態生理とアセスメント」) 30: 174-175, 2010	表皮下水疱症 (類天疱瘡群)	中島喜美子	皮膚科学
月刊ナーシング4月増刊号「骨, 筋肉, 皮膚イラストレイテッド: 病態生理とアセスメント」) 30: 192-193, 2010	汗腺系腫瘍 (エクリン汗孔腫, 汗管腫など)	中島英貴	皮膚科学
月刊ナーシング4月増刊号「骨, 筋肉, 皮膚イラストレイテッド: 病態生理とアセスメント」) 30: 204-205, 2010	悪性黒色腫 (メラノーマ)	中島英貴	皮膚科学
皮膚科の臨床 52: 261-264, 2010	爪下表皮嚢腫の1例	三好研, 佐野栄紀	皮膚科学
The Journal of Dermatology 37: 163-166, 2010	Favorable response of reticular erythematous mucinosis to UVB irradiation using a 308-nm excimer lamp	Ken Miyoshi, Osamu Miyajima, Maki Yokogawa, Shigetoshi Sano	皮膚科学
西日本皮膚科 72: 54-59, 2010	表皮角化細胞のStat3シグナル (前編)	佐野栄紀	皮膚科学

皮膚病診療 32: 389-392, 2010	Sjögren症候群-露光部にSCLEの皮疹を呈したSLE合併症 -	山本真有子, 青木奈津子, 佐野栄紀	皮膚科学
日本皮膚科学会雑誌 120: 1881-1885, 2010	チアマゾール内服中の母親より出生した先天性皮膚欠損症の男児2例	高橋綾, 中島喜美子, 池田光徳, 佐野栄紀	皮膚科学
臨床皮膚科 64: 370-372, 2010	尋常性痤瘡治療目的に使用したスピロノラク톤による播種状紅斑丘疹型薬疹の1例	喜多川千恵, 池野史典, 佐野栄紀	皮膚科学
西日本皮膚科 72:145-151, 2010	表皮角化細胞のStat3シグナル (中編)	佐野栄紀	皮膚科学
Journal of Dermatological Science 58: 28-35, 2010	Neutrophil-dominant psoriasis-like skin inflammation induced by epidermal-specific expression of Raf in mice.	M Tarutani, Y Imai, K Yasuda, H Tsutsui, K Nakanishi, K Yamanishi	皮膚科学
日本小児皮膚科学会雑誌 29: 55-58, 2010	Acral pseudolymphomatous angiokeratoma of children (APACHE) の1例	樽谷勝仁, 伊藤孝一, 長澤智彦, 佐野栄紀	皮膚科学
臨床皮膚科 (Clinical Dermatology) 64: 46-49, 2010	乾癬とメタボリックシンドローム	中島英貴, 佐野栄紀	皮膚科学
西日本皮膚科 72: 229-234, 2010	表皮角化細胞のStat3シグナル (後編)	佐野栄紀	皮膚科学
医学のあゆみ 234: 578-583, 2010	表皮とStat3 -もろ刃の剣としてのマスターシグナル-	佐野栄紀	皮膚科学

臨床皮膚科 64:655-658, 2010	多血小板血漿療法が有効であった難治性皮膚潰瘍	高橋綾, 横川真紀, 池田光徳, 佐野栄紀	皮膚科学
J Invest Dermatol 130: 2497-2499, 2010	Neutral Lipid Storage Leads to Acylceramide Deficiency, Likely Contributing to the Pathogenesis of Dorfman-Chanarin Syndrome.	Uchida Y, Cho Y, Moradian S, Kim J, Nakajima K, Crumrine D, Park K, Ujihara M, Akiyama M, Shimizu H, Holleran WM, Sano S, Elias PM.	皮膚科学
J Dermatol Science 60: 50-52, 2010	High prevalence of coinfection with mucosal high-risk type HPV (HR- HPV) and cutaneous HR-HPV in Bowen' s disease in the fingers.	Hideki Nakajima, Mika Teraishi, Masahito Tarutani, Shigetoshi Sano	皮膚科学
J Dermatol Science 60:45-47, 2010	Circulating level of chemerin is upregulated in psoriasis	Hideki Nakajima, Kimiko Nakajima, Yumie Nagano, Mayuko Yamamoto, Masahito Tarutani, Michiko Takahashi, Yutaka Takahashi, Shigetoshi Sano	皮膚科学
医薬の門 50:66-69, 2010	当教室における皮膚疾患治療へのターゲット型光線療法への応用 ～乾癬治療を中心に～	横川真紀, 佐野栄紀	皮膚科学
日本皮膚科学会雑誌 120: 2944-2646, 2010	ターゲット型エキシマランプによる皮膚疾患の治療	横川真紀, 佐野栄紀	皮膚科学
J Invest Dermatol 131: 108-117, 2010	Stat3 as a Therapeutic Target for the Treatment of Psoriasis: A Clinical Feasibility Study with STA-21, a Stat3 Inhibitor	Miyoshi K, Takaishi M, Nakajima K, Ikeda M, Kanda T, Tarutani M, Iiyama T, Asao N, Digiovanni J, Sano S.	皮膚科学
臨床皮膚科 64: 581-584, 2010	下眼瞼外反を生じた巨大な皮膚混合腫瘍の1例	青木奈津子, 中島英貴, 三好研, 池田光徳, 佐野栄紀, 吉村彰人	皮膚科学

小児科【子どもの皮膚疾患の診か た】 51: 644-645, 2010	小児皮膚疾患 若年性 黄色肉芽腫	中島英貴, 佐野栄紀	皮膚科学
臨床皮膚科 64: 1007-1011, 2010	プレミネント [®] による光 線過敏型薬疹の1例	岸本英樹、喜多川千 恵、山本真有子、佐野 栄紀、安田佳世	皮膚科学
皮膚病診療 32: 1160-1165, 2010	関節症性乾癬とその成 因(解説)	佐野栄紀	皮膚科学
臨床皮膚科 64: 979-981, 2010	両臀部に出現した虚血 性筋膜炎の1例	山本真有子	皮膚科学
皮膚病診療 32: 33-36, 2010	全身に紫斑を生じたア ナフィラクトイド紫斑	志賀建夫, 中島喜美子, 佐野栄紀, 小玉肇	皮膚科学
皮膚の科学 9: 64-68, 2010	ヘパリンカルシウム皮 下注射部位に生じた壊 死を伴う浸潤性紅斑の 1例	喜多川千恵(加古川市民 病院/皮膚科)、山田陽 三	皮膚科学
Visual Dermatology 8: 834-835, 2010	エタネルセプトによる リウマトイド血管炎に 伴う皮膚潰瘍の治療	矢田部愛, 横川真紀, 佐 野栄紀, 谷口義典, 公文 義雄, 池田光徳	皮膚科学
Journal of Dermatological Science 59: 64-71, 2010	Erratum to "Neutrophil-dominant psoriasis-like skin inflammation induced by epidermal- specific expression of Raf in mice"	Tartutani M, Imai Y, Yasuda K, Tsutsui H, Nakanishi K, Yamanishi K.	皮膚科学
Journal of Dermatology 37: 1-2, 2010	Manifestation of psoriatic lesions in a cooling pillow user	Miyoshi K, Takamura S, Nakajima H, Sano S.	皮膚科学
臨床腫瘍プラクティス	特集 再発・転移乳が んへの最新のアプロ ーチ 放射線による新し い治療法—増感放射線 療法KORTUC	小川 恭弘	放射線科

Oncol Rep 2010, 24:727-732	Role of diffusion-weighted imaging in evaluating therapeutic efficacy after transcatheter arterial chemoembolization for hepatocellular carcinoma	Kubota K	放射線
臨床画像 Vol.26 No.12 2010.12	「T1強調像で高信号」または「T2強調像で低信号」を示す病変 縦隔	野上 宗伸	放射線部
Am J Surg 199(1)Jan:8-13 Epub 2009 Nov 6	Hyperglycemia during hepatic resection: continuous monitoring of blood glucose concentration	Maeda H, Okabayashi T, Nishimori I, Yamashita K, Sugimoto T, Hanazaki K	外科1
Amino Acids 38(3)Mar:901-907. Epub 2009 Apr 28	Preoperative oral supplementation with carbohydrate and branched-chain amino acid-enriched nutrient improves insulin resistance in patients undergoing a hepatectomy: a randomized clinical trial using an artificial pancreas	Okabayashi T, Nishimori I, Yamashita K, Sugimoto T, Namikawa T, Maeda H, Yatabe T, Hanazaki K	外科1
Amino Acids. 2010 Sep 18. [Epub ahead of print]	Oral supplementation with carbohydrate- and branched-chain amino acid-enriched nutrients improves postoperative quality of life in patients undergoing hepatic resection	Okabayashi T, Iyoki M, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
Colorectal Dis (in press)	Validation study of the Japanese version of the fecal incontinence quality of life scale	Ogata H, Mimura T, Hanazaki K	外科1

Crit Care Med. 2010 Dec 20. [Epub ahead of print]	The evaluation of the ability of closed-loop glycemic control device to maintain the blood glucose concentration in intensive care unit patients	Yatabe T, Yamazaki R, Kitagawa H, Okabayashi T, Yamashita K, Hanazaki K, Yokoyama M	外科1
Dig Endosc 22(3)Jul:223-227. Epub 2010 Jun 21	Early gastric cancer with widespread duodenal invasion within the mucosa	Namikawa T, Kobayashi M, Kitagawa H, Okabayashi T, Dabanaka K, Okamoto K, Sugimoto T, Toi M, Hanazaki K	外科1
Drug Metab Dispos 38(11)Nov:2040-2048. Epub 2010 Aug 5	Profiling of the compounds absorbed in human plasma and urine after oral administration of a traditional Japanese (Kampo) medicine daikenchuto (DKT)	Iwabu J, Watanabe J, Hirakura K, Ozaki Y, Hanazaki K	外科1
J Anesth 24(5)Oct:803-6. Epub 2010 Jun 5	Better postoperative oxygenation in thoracoscopic esophagectomy in prone positioning	Yatabe T, Kitagawa H, Yamashita K, Akimori T, Hanazaki K, Yokoyama M	外科1
J Clin Gastroenterol 44(1)Jan:75-76. Epub 2009 Jun 25	Incidence of and predictive risk factors for intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas with ordinary pancreatic cancer	Okabayashi T, Nishimori I, Maeda H, Hanazaki K	外科1
J Clin Gastroenterol (in press)	Clinical characteristics of the idiopathic perforation of the colon	Namikawa T, Ozaki S, Okabayashi T, Dabanaka K, Okamoto K, Mimura T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
J Gastrointest Surg 14(1)Jan:52-57. Epub 2009 Oct 10	Clinicopathological properties of the superficial spreading type early gastric cancer	Namikawa T, Kitagawa H, Iwabu J, Okabayashi T, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1

J Gastrointest Surg 14(12):1923-1930. Epub 2010 Aug 18	Tumors Arising at Previous Anastomotic Site may have Poor Prognosis in Patients with Gastric Stump Cancer Following Gastrectomy	Namikawa T, Kitagawa H, Iwabu J, Okabayashi T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
J Hosp Infect (in press)	Subcutaneous continuous suction drainage for prevention of surgical site infection	Tochika N, Namikawa T, Kamiiji I, Kitamura M, Okamoto K, Hanazaki K	外科1
J Med Invest 57(3, 4):232-236	Vascular endothelial growth factors and their receptors in the novel human cell line, HN-Eso-1, established from esophageal spindle cell carcinoma	Nakatani H, Akimori T, Takezaki Y, Hanazaki K	外科1
Med Mol Morphol 43(2)Jun:91-95	Primary undifferentiated carcinoma of the small intestine: an immunohistochemical study and review of the literature	Namikawa T, Kobayashi M, Iwabu J, Kitagawa H, Maeda H, Okabayashi T, Iguchi M, Hiroi M, Hanazaki K	外科1
Surg Today 40(1):1-7. Epub 2009 Dec 29	Tight perioperative glycemic control using an artificial endocrine pancreas	Hanazaki K, Maeda H, Okabayashi T	外科1
World J Gastroenterol 16(37)Oct:4634-4639	Mucin phenotype of gastric cancer and clinicopathology of gastric-type differentiated adenocarcinoma	Namikawa T, Hanazaki K	外科1
World J Gastrointest Surg 2(4)Apr:147-152	Laparoscopic splenectomy for splenic hamartoma: Case management and clinical consequences	Namikawa T, Kitagawa H, Iwabu J, Kobayashi M, Matsumoto M, Hanazaki K	外科1

World J Surg 34(5)May:1022-1027. Epub 2010 Feb 9	Roux-en-Y reconstruction is superior to Billroth I reconstruction in reducing reflux esophagitis after distal gastrectomy: Special relationship with the angle of His	Namikawa T, Kitagawa H, Okabayashi T, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	外科1
別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.14 肝・胆道系症候群 (第2版) -その他の肝・胆道系疾患を含めて- 日本臨牀社 p99-102	II 肝臓編 (下) XII 肝動脈, 肝静脈, 門脈系異常 肝梗塞	宗景匡哉、花崎和弘	外科1
病気の機能分子形態学、日本臨床分子形態学会編、学際企画 (in press)	癌におけるThymidine phosphorylase	並川 努, 小林道也	外科1
癌と化学療法 37(13)12月:2856-2859	乳腺・内分泌腫瘍 乳癌薬物療法のトピックス III. 遺伝子シグナチャーの進化 -本格的臨床導入-	杉本健樹	外科1
外科 72(8)8月:834-838	経皮経肝胆道および胆嚢ドレナージの適応と手技	宗景匡哉、花崎和弘	外科1
消化器外科 33(5)4月:911-913	処置に伴う合併症と対策 ステント設置後合併症 膵管狭窄部ステント	耕崎拓大、岡林雄大、花崎和弘	外科1
手術 64(6)5月:711-715	I. 開腹手術用機器 1. 鑷子	並川 努、花崎和弘	外科1
侵襲と免疫 19(4)12月:162-167	血糖コントロールにおける人工膵の役割	花崎和弘	外科1
内分泌・糖尿病・代謝内科 30(6)6月:577-584	人工膵島による周術期の血糖管理	花崎和弘	外科1
日本外科学会雑誌 111(臨時増刊号3)8月:7-8	「優れた外科医の育成」を目指した卒前・卒後教育	花崎和弘	外科1

日本集中治療医学会雑誌 17(4):533-534	人工臓臓 STG-22TM を 用いて強化インスリン 療法を行った深頸部膿 瘍の1例	矢田部智昭、横山武 志、前田広道、岡林雄 大、細井理絵、山下幸 一、花崎和弘、横山正 尚	外科1
臨床看護 36(9)8月:1225-1230	ICUにおける人工臓臓 を用いた血糖制御法； 安全で労働負担が少な い血糖管理法の開発を 目指して	壬生季代、岡林雄大、 薦田直之、川崎一起、 麻植美佐子、矢田部智 昭、山崎文晴、宗景匡 哉、北川博之、花崎和 弘	外科1
Ann Thorac Cardiovasc Surg	A surgical case report of off-pump onlay patch grafting for pseudoaneurysm with diffusely calcified coronary artery.	Sasaguri S, Nishimori H, Wariishi S, Yamamoto M, Kondo N, Kihara K, Fukutomi T.	外科 (二)
kyobugeka	Introduction, designs and assessment of a suture set for standard cardiovascular surgery	Wariishi S, Nishimori H, Fukutomi T, Yamamoto M, Sasaguri S.	外科 (二)
Gen Thorac Cardiovasc Surg	New device for intraoperative graft assessment: HyperEye charge-coupled device camera system.	Handa T, Katare RG, Nishimori H, Wariishi S, Fukutomi T, Yamamoto M, Sasaguri S, Sato T.	外科 (二)
胸部外科	IABP挿入・抜去法。特 集 胸部外科手術の基 本手技とコツ	割石精一郎、笹栗志朗	外科 (二)
Frontier Angiology	下肢静脈瘤のレーザー 治療Ⅱ	川田通広、伊藤基巳紀、 木村正廣、近藤庸夫、 笹栗志朗	外科 (二)
日本呼吸器外科学会雑誌	繰り返す肺炎で発見さ れた気管支内過誤腫の 一例	穴山貴嗣、岡田浩晋、 久米基彦、笹栗志朗	外科 (二)
産婦人科治療 (0558-471 X)	【婦人科領域における 画像診断の最新情報】 卵巣奇形腫の画像診断	松島幸生、 前田長正、 深谷孝夫	産科婦人科

産婦人科の実際 (臨時増刊)	外来診察マニュアル 不妊・内分泌 6. 多 嚢胞性卵巣	谷口佳代、 泉谷知明、 深谷孝夫	産科婦人科
産科と婦人科 (2010年・11月号)	産婦人科教室 私たち の教室紹介 SERIES 11	深谷孝夫、 前田長正	産科婦人科
臨床婦人科産科 (0386-9865)	【低用量OCの普及をめ ざして】 緊急避妊薬	都築たまみ、 泉谷知明、 深谷孝夫	産科婦人科
日本産科婦人科内視鏡学会	子宮内膜症合併不妊に おける腹腔鏡下手術後 の妊娠予後の検討	泉谷知明、 谷口佳代、 前田長正、 深谷孝夫	産科婦人科
麻酔 2010; 59: 213-215.	術中に肺水分量を測定 した原発性アルドステ ロン症の麻酔経験	山下幸一, 横山武志, 阿部秀宏, 矢田部智昭	麻酔科学講座
日臨麻会誌 2010;30:82-86	脊椎後方矯正固定術中 に肺血栓塞栓症を来し た 1 症例	矢田部智昭, 横山武志, 細井理絵, 山下幸一, 横山正尚	麻酔科学講座
日臨麻会誌 2010;30:638-41	FloTracTM/VigileoTM を用いて麻酔管理を 行った拡張型心筋症合 併患者の1例,	矢田部智昭, 山崎理絵, 山下幸一, 横山正尚	麻酔科学講座
European Journal of Vascular and Endovascular Surgery 39(5): 642-645, 2010	Prevention of venous stasis in the lower limb by transcutaneous electrical nerve stimulation.	Izumi M, Ikeuchi M, Mitani T, Taniguchi S, Tani T	整形外科
Journal of Spine Research 1(7): 1303-1308, 2010	Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire (JOABPEQ): A Validity Study in Patients with Lumbar Disc Herniation and Lumbar Spinal Canal Stenosis.	Miyamoto M, Fukui M, Kanamori M, Chiba K, Kawakami M, Nakai S, Shimamura T, Taguchi T, Takeshita K, Tanaka Y, Tani T, Taniguchi S, Wada E, Yonenobu K	整形外科

Muscle & Nerve 42(2): 208-212, 2010	Effect of motor imagery and voluntary muscle contraction on the F wave	Hara M, Kimura J, Walker DD, Taniguchi S, Ichikawa H, Fujisawa R, Shimizu H, Abe T, Yamada T, Kayamori R, Mizutani T	整形外科
Knee 2010 Jul 17 [Epub ahead of print]. (The Knee)	Successful treatment of wound breakdown caused by pyoderma gangrenosum after total knee arthroplasty.	Nakajima N, Ikeuchi M, Izumi M, Kuriyama M, Nakajima H, Tani T	整形外科
Journal of Spine Research 2(2): 202-205, 2011	Comparison of clinical and radiological outcomes after anterior decompression and fusion for cervical spondylotic myelopathy between elderly and younger patients.	Taniguchi S, Tani T, Ushida T, Nagano Y, Tadokoro N	整形外科
Journal of Spine Research 2(2): 223-226, 2011	Neuronal activity of cervical spinal cord to palm pain using functional magnetic resonance imaging.	Ikemoto T, Ushida T, Ueno T, Taniguchi S, Tani T	整形外科
Journal of Spine Research 2(2): 264-267, 2011	Clinical application of magnetic resonance-guided focused ultrasound surgery for chronic pain associated with degenerative spinal disease.	Kawasaki M, Ushida T, Nanba H, Kato T, Tani T	整形外科
Journal of Spine Research 2(2): 381-383, 2011	Prognosing shoulder girdle weakness due to proximal-type cervical spondylotic amyotrophy.	Tadokoro N, Ikeuchi M, Taniguchi S, Takemasa R, Tani T, Ushida T	整形外科

Int Arch Allergy Immunol, 151(2):129-136, 2010.	Participation of CD11b and F4/80 molecules in the conjunctival eosinophilia of experimental allergic conjunctivitis.	Fukushima A, Ishida W, Ojima A, Kajisako M, Sumi T, et al.	眼科
J Ocul Pharmacol Ther, 26(2):165-174, 2010.	A randomised, placebo-controlled clinical trial of tacrolimus ophthalmic suspension 0.1% in severe allergic conjunctivitis.	Ohashi Y, Ebihara N, Fujishima H, Fukushima A, et al.	眼科
Cornea, 29: 622-627, 2010.	T cell-related co-stimulatory molecules in the conjunctiva of patients with severe allergic conjunctivitis.	Sumi T, Ishida W, Ebihara N, Fukushima A.	眼科
Jpn J Ophthalmol, 54(5): 476-480, 2010.	Aggravation of conjunctival early-phase reaction by staphylococcus aureus enterotoxin B via augmentation of IgE production.	Miyazaki D, Ishida W, Tominaga T, Sumi T, Fukushima A.	眼科
Br J Ophthalmol, 94(12): 1657-1661, 2010.	Evaluation of histamine-induced conjunctival edema in guinea-pigs using image analysis.	Takahashi A, Sumi T, Tada K, Fukushima A, et al.	眼科
Mol Vision, 16: 1280-1285, 2010.	Conjunctival macrophages act as antigen-presenting cells in the conjunctiva during the development of experimental allergic conjunctivitis.	Ishida W, Kajisako M, Takahashi A, Sumi T, Fukuda K, Fukushima A, et al.	眼科
Cornea, 29(11): 62-67, 2010.	Ocular allergic inflammation: interaction between the cornea and conjunctiva.	Fukuda K, Nishida T.	眼科

Allergol Int, 59(3): 309-312, 2010.	Case report of restoration of the corneal epithelium in a patient with atopic keratoconjunctivitis resulting in amelioration of ocular allergic inflammation.	Fukuda K, Yamada N, Nishida T.	眼科
アレルギー・免疫 17(1): 110-115, 2010.	通年性アレルギー性結膜炎に対するトラニラスト点眼液とオロパタジン点眼液の比較.	山本 由美子, 目代 康子, 吉田 理, 福島 敦樹.	眼科
臨床眼科 64(5): 779-782, 2010.	高知大学医学部眼科におけるBehcet病症例の統計学的観察.	山本 由美子, 多田 憲太郎, 岸 茂, 福島 敦樹.	眼科
日本眼炎症学会誌 12: 16-19, 2010.	アレルギー性結膜疾患発症に関与する細胞と分子.	角 環	眼科
臨床眼科 64(8): 1311-1314, 2010.	強度近視に伴う脈絡膜新生血管治療後に黄斑分離をきたした1例.	松下 恵理子, 西野 耕司, 中茎 敏明, 西内 貴史, 福島 敦樹.	眼科
臨床眼科 64(8): 1331-1335, 2010.	眼瞼と眼球結膜に限局したアミロイドーシスの1例.	中平 麻美, 角 環, 多田 憲太郎, 佐々木 香る, 井口みつこ, 弘井 誠, 刑部 安弘, 福島 敦樹.	眼科
臨床眼科 64(10): 1795-1798, 2010.	片眼に網膜静脈閉塞症を合併したBehcet病の1例.	山本 由美子, 山添健二, 西野耕司, 岸 茂, 福島 敦樹.	眼科
Otolaryngology-Head and Neck Surgery 143; 422-428, 2010.	Long-term results with the Rion E-type semi-implantable hearing aid.	Komori M, Yanagihara N, Hinohira Y, Hato N, Gyo K	耳鼻咽喉科

Cell Proliferation 43; 457-463, 2010.	The role of inhibitor of DNA-binding (Id1) in hyperproliferation of keratinocytes: the pathological basis for middle ear cholesteatoma from chronic otitis media.	Hamajima Y, Komori M, D. A. Preciado, D. I. Choo, Moribe K, Murakami S, F. G. Ondrey, J. Lin	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 38; 95-100, 2011.	Incidence of long-term ipsilateral and contralateral ototoxicity following radiotherapy for nasopharyngeal carcinoma.	Wakisaka H, Yamada H, Motoyoshi K, Ugumori T, Takahashi H, Hyodo M	耳鼻咽喉科
Otology & Neurotology 32(1); 71-76, 2010.	Lateral Orifice of Prussak's Space Assessed With a High-Resolution Cone Beam 3-Dimensional Computed Tomography.	Kashiba K, Komori M, Yanagihara N, Hinohira Y, Sakagami M	耳鼻咽喉科
PEDIATRIC RESEARCH 69(2); 101-105, 2011.	Pneumococcal Peptidoglycan-Polysaccharides Regulate Toll-Like Receptor 2 in the Mouse Middle Ear Epithelial Cells.	Komori M, Nakamura Y, Ping J, Feng L, Toyama K, Kim Y, Ferrieri P, Lin J	耳鼻咽喉科
日気食会報61(2); 185-187, 2010.	脳血管障害による嚙下障害への対応 -外科的治療-	兵頭政光	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸82(5); 229-232, 2010.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科の検査マニュアル方法・結果とその解釈 IV. 嚙下検査 4. 筋電図検査.	兵頭政光, 森 敏裕	耳鼻咽喉科
頭頸部外科20(1); 57-61, 2010.	乳幼児OSAHSに対する手術治療の安全性に関する臨床的検討.	能田淳平, 濱田昌史, 松本 昇, 宋 碩柱, 兵頭政光	耳鼻咽喉科
喉頭22(1); 25-29, 2010.	外科的治療を要した喉頭軟弱症の2例.	西窪加緒里, 兵頭政光	耳鼻咽喉科

口咽科23(2) ; 169-173, 2010.	舌下腺由来粘液腺癌の1例.	弘瀬かほり, 西岡利恵, 中谷宏章, 横島悦子, 兵頭政光	耳鼻咽喉科
JOHNS26(9)増大号 ; 1494-1595, 2010.	お母さんへの回答マニュアル耳鼻咽喉科Q&A2010 「Q. 声帯ポリープと言われましたが、何が原因でしょうか？」	兵頭政光	耳鼻咽喉科
MB ENT 118 ; 1-5, 2010.	耳鼻咽喉科からみた喘鳴・喘息 一喘鳴・喘息概論updateー.	兵頭政光	耳鼻咽喉科
日耳鼻113(8) ; 670-678, 2010.	嚥下内視鏡検査におけるスコア評価基準(試案)の作成とその臨床的意義.	兵頭政光, 弘瀬かほり, 西窪加緒里	耳鼻咽喉科
音声言語医学51(4) ; 305-310, 2010.	Voice Handicap Index 日本語版を用いた学校教員における音声障害のアンケート調査.	兵頭政光, 西窪加緒里, 田口亜紀, 三瀬和代, 城本 修	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望53・補(2) ; 97-100, 2010.	不快感の軽減を目指した耳鼻咽喉科処置用スプレーの改良とその評価.	檜葉恵子, 小森正博, 表原慶典, 柳原尚明, 阪上雅史	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床103(10) ; 967-969, 2010.	歯科用電動注射器の耳内麻酔への応用.	小森正博, 下分章裕, 柳原尚明, 檜葉恵子, 表原慶典, 貞本昌規	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科展望53(5) ; 343-345, 2010.	Office Based 3D-CT の実際と私の活用ーアブミ骨を中心にー.	小森正博	耳鼻咽喉科
耳鼻56(補2) ; S119-S124, 2010.	頭頸部疾患による嚥下障害に対するリハビリテーションの実際とその効果.	三瀬和代, 本吉和美, 兵頭政光	耳鼻咽喉科
耳鼻56(補2) ; S189-S194, 2010.	嚥下訓練により経口摂食が自立できた下咽頭部分切除後の高度嚥下障害例.	中平真矢, 兵頭政光, 西窪加緒里, 岩村健司, 高橋朝妃, 土居奈央, 榎 勇人, 石田健司, 谷 俊一	耳鼻咽喉科

耳鼻(補2) ; S215-S222, 2010.	咽喉頭異常感症症例における嚥下造影検査の検討.	西窪加緒里, 兵頭政光	耳鼻咽喉科
耳喉頭頸82(13) ; 965-970, 2010.	知っておきたい生理・病態の基礎 12. 発声・構音.	兵頭政光	耳鼻咽喉科
頭頸部外科20(2) ; 87-93, 2010.	眼窩吹き抜け骨折.	小林泰輔	耳鼻咽喉科
MB ENT 124 ; 38-42, 2011.	高齢者誤嚥に対する外科的治療後の管理	兵頭政光, 西窪加緒里	耳鼻咽喉科
JOHNS 27(3) ; 357-360, 2011.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科の看護技術2011 入院診療における看護嚥下障害.	兵頭政光	耳鼻咽喉科
CI研究 32(2) :103-110, 2010	脳神経外科専用LANシステムの構築と各種画像支援システムの運用による脳腫瘍診療.	田村 雅一, 野中 大伸, 川西 裕, 中居 永一, 井川 直樹, 中林 博道, 清水 恵司	脳神経外科
Molecular Carcinogenesis 49:532-544, 2010	Enhanced expression of cancer testis antigen genes in glioma stem cells.	Yawata T, Nakai E, Park KC, Chihara T, Kumazawa A, Toyonaga S, Masahira N, Nakabayashi H, Kaji T, Shimizu K	脳神経外科
BMC Cancer 10:339, 2010	Anti-invasive and antiangiogenic effects of MMI-166 on malignant glioma cells.	Nakabayashi H, Yawata T, Shimizu K	脳神経外科

Brain Tumor Pathol 27(2):111-115, 2010	A cystic meningioma misdiagnosed as malignant glioma by radiologic and intraoperative histological examinations.	Yamada SM, Fujimoto Y, Kawanishi Y, Shimizu K	脳神経外科
日本臨床68 増刊号(4): 256-260, 2010.	II. 膀胱癌 臨床研究 診断と分類 蛍光膀胱鏡による膀胱癌診断. 腎・泌尿器癌-基礎・臨床研究のアップデート-	井上啓史, 執印太郎	泌尿器科
癌と化学療法	口腔癌患者において化学・放射線療法と同時並行で投与した経腸栄養剤の効果	森下慶子, 大野清二, 河野倫子, 成川玄, 笹部衣里, 山本哲也	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	扁平上皮癌に連続して発生した舌紡錘細胞癌の一例	本田博之, 松澤壽章, 森下慶子, 大野清二, 笹部衣里, 山本哲也	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	下顎骨病的骨折を契機に診断された多発性骨腫瘍の1例	山田朋弘, 森谷徳文, 池田篤司, 三島克章, 松村達志, 植野高章	歯科口腔外科
臨床病理	口腔カンジタ症の病態とその制御. 臨床病理	山本哲也	歯科口腔外科
口腔組織培養学会誌	口腔扁平上皮癌におけるマイクロRNAの発現と増殖・浸潤における役割についての検討	吉村友秀, 笹部衣里, 北村直也, 山本哲也	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	コルチコステロイドの局所注射が奏効した下顎骨ランゲルハンス細胞組織球症の1例	中谷倫子, 成川玄, 中村裕一郎, 北村直也, 山田朋弘, 山本哲也	歯科口腔外科

Recent Advances and Research Updates	The Involvement of Hypoxia-Inducible Factor-1 α in the Susceptibility to r-rays and Chemotherapeutic Drugs of Oral Squamous Cell Carcinoma Cells.	Eri Sasabe, Xuan Zhou, Dechao Li, Naohisa Oku, Tetsuya Yamamoto, Tokio Osaki	齒科口腔外科
Free Radic Biol Med	Reactive oxygen species produced by the knockdown of manganese-superoxide dismutase up-regulate hypoxia-inducible factor-1 α expression in oral squamous cell carcinoma cells.	Sasabe E, Yang Z, Ohno S, Yamamoto T	齒科口腔外科
The Journal of Dermatology	Enhanced expression of toll-like receptor 2 in lesional tissues and peripheral blood monocytes of patients with oral lichen planus.	Seiji Ohno, Yoshihisa Tateishi, Yukihiro Tatemoto, Keiko Morishita, Eri Sasabe, Tetsuya Yamamoto	齒科口腔外科
Journal of Craniofacial Surgery	Nasolabial morphological changes after a Le Fort I osteotomy: a three-dimensional anthropometric study.	T Yamada, K Mishima, N Moritani, D Janune, T Matsumura, Y Ikeya, T Yamamoto	齒科口腔外科
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol Endod	A case of ATLL (adult T-cell leukemia/lymphoma) mimicking dental infectious disease.	Yamada T, Mishima K, Ota A, Moritani N, Matsumura T, Katase N, Yamamoto T	齒科口腔外科
Z. Naturforsch	Hydrothermal Sintering under Mild Temperature Conditions: Preparation of Calcium-deficient Hydroxyapatite Compacts.	Kazumichi Yanagisawa, Jae-Hyen Kim, Chisato Sakata, Ayumu Onda, Eri Sasabe, Tetsuya Yamamoto, Zully Matamoros-Veloza, Juan Carlos Rendon-Angeles	齒科口腔外科

Int J Oral Maxillofac Surg	Post-surgical unilateral temporomandibular joint dislocation treated by open reduction followed by orthodontic treatment.	Satake H, Yamada T, Kitamura N, Yoshimura T, Sasabe E, Yamamoto T	歯科口腔外科
Oral Oncology	Wilm's tumor gene WT1 peptide immunotherapy for pulmonary metastasis from adenoid cystic carcinoma of the salivary gland.	Eri Sasabe, Fumito Hamada, Tatsuo Iiyama, Keiko Udaka, Haruo Sugiyama, Tetsuya Yamamoto	歯科口腔外科
World J Gastroenterol. Jan 28;16(4):474-8	Clinical relevance of Helicobacter pylori babA2 and babA2/B in Costa Rica and Japan.	Con SA, Takeuchi H, Nishioka M, Yasuda N, Morimoto N, Sugiura T	検査部
Clinical Cardiology. 33:E1-7	Serum cardiac troponin I is related to increased left ventricular wall thickness, left ventricular dysfunction, and male gender in hypertrophic cardiomyopathy	Kubo T, Kitaoka H, Okawa M, Yamanaka S, Hirota T, Hoshikawa E, Hayato K, Yamasaki N, Matsumura Y, Yasuda N, Sugiura T, Doi YL	検査部
Hypertens Res 33:678-82.	Association between brachial-ankle pulse wave velocity and 3-year mortality in community-dwelling older adults.	Miyano I, Nishinaga M, Takata J, Shimizu Y, Okumiya K, Matsubayashi K, Ozawa T, Sugiura T, Yasuda N, Doi Y.	検査部
Cardiology 116:32-6	Link between pericardial effusion and attenuation of QRS voltage in patients with hypothyroidism.	Yamanaka S, Kumon Y, Matsumura Y, Kamioka M, Takeuchi H, Sugiura T.	検査部

Microbiol Immunol. 54(8):442-51	The mechanical binding strengths of Helicobacter pylori BabA and SabA adhesins using an adhesion binding assay-ELISA, and its clinical relevance in Japan.	Nishioka M, Takeuchi H, Con SA, Uehara Y, Nishimori I, Okumiya T, Kumon Y, Sugiura T.	検査部
Clin Physiol Funct Imaging 30:69-74	Relationship between arterial baroreflex sensitivity and exercise capacity in patients with acute myocardial infarction.	Yuasa F, Sumimoto T, Yokoe H, Yoshida S, Murakawa K, Sugiura T, Iwasak T	検査部
J Atheroscler Thromb. Sep 30;17(9):925-33.	Serum fetuin-A is an independent marker of insulin resistance in Japanese men.	Ishibashi A, Ikeda Y, Ohguro T, Kumon Y, Yamanaka S, Takata H, Inoue M, Suehiro T, Terada Y	検査部
J Mol Cell Cardiol. Mar 17.	Differential regulation of TNF receptors by vagal nerve stimulation protect heart against acute ischemic injury.	Katare RG, Ando M, Kakinuma Y, Arikawa M, Yamasaki F, Sato T.	検査部
日本臨床検査自動化学会誌 35:298-303.	スクリーニング検査項目による骨代謝マーカーの推定	久原太郎, 片岡浩巳, 小倉克巳, 杉浦哲朗	検査部
Nippon Rinsho. 2010 Jul;68 Suppl 7:321-4. Japanese. No abstract available	[Parathyroid hormone-related protein (PTHrP)].	Kumon Y, Sugiura T.	検査部
Dig Endosc 22(3)Jul:223-227.	Early gastric cancer with widespread duodenal invasion within the mucosa	Namikawa T, Kobayashi M, Kitagawa H, Okabayashi T, Dabanaka K, Okamoto K, Sugimoto T, Toi M, Hanazaki K	がん治療センター

J Gastrointest Surg 14(1)Jan:52-57	Clinicopathological properties of the superficial spreading type early gastric cancer	Namikawa T, Kitagawa H, Iwabu J, Okabayashi T, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	がん治療センター
J Gastrointest Surg 14(12):1923-1930	Tumors Arising at Previous Anastomotic Site may have Poor Prognosis in Patients with Gastric Stump Cancer Following Gastrectomy	Namikawa T, Kitagawa H, Iwabu J, Okabayashi T, Kobayashi M, Hanazaki K	がん治療センター
Med Mol Morphol 2010 43(2)Jun:91-95	Primary undifferentiated carcinoma of the small intestine: an immunohistochemical study and review of the literature	Namikawa T, Kobayashi M, Iwabu J, Kitagawa H, Maeda H, Okabayashi T, Iguchi M, Hiroi M, Hanazaki K	がん治療センター
World J Gastrointest Surg 2(4)Apr:147-152	Laparoscopic splenectomy for splenic hamartoma: Case management and clinical consequences	Namikawa T, Kitagawa H, Iwabu J, Kobayashi M, Matsumoto M, Hanazaki K	がん治療センター
World J Surg 34(5)May:1022-1027	Roux-en-Y reconstruction is superior to Billroth I reconstruction in reducing reflux esophagitis after distal gastrectomy: Special relationship with the angle of His	Namikawa T, Kitagawa H, Okabayashi T, Sugimoto T, Kobayashi M, Hanazaki K	がん治療センター
論文件数合計			265件

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。）。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部・病院事務部長 田中 一彦
閲覧担当者氏名	総務企画課長 池本 強
閲覧の求めに応じる場所	医事課 医事相談室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	69.8 %	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		9,768人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,493人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,132人
	D：初診の患者の数		19,273人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	⑦・無
指針の主な内容 (本院の安全管理のための指針) <ul style="list-style-type: none">・安全管理に関する基本的考え方 (安全管理の体制確保という総合的観点から)・医療に係る安全管理のための委員会その他組織に関する基本的事項・医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針・医療に係る安全の確保を目的とした、事故報告等の改善のための方策に関する基本方針・医療事故等発生時の対応に関する基本方針・患者さんからの相談への対応に関する基本方針・患者さんや第三者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針・医薬品と医療機器安全管理に関する基本方針・その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
活動の主な内容 (リスクマネジメント代表者会議規則) <ol style="list-style-type: none">(1) 高知大学医学部附属病院医療安全管理部規則 (平成 16 年 5 月 26 日施行) 第 3 条に定める事項。(2) 報告のあったインシデントの分析及び影響度レベルの判定に関すること。(3) 判定した影響度レベルが 3 b 以上のものについて、医療問題調査委員会への報告に関すること。(4) インシデントごとの解決策及び再発防止策等の企画・立案に関すること。(5) 医療安全管理体制システム及びマニュアルの見直しに関すること。(6) 研修会等の企画・立案に関すること。(7) 協議事項の結果をリスクマネジメント担当者に周知徹底すること。(8) その他安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年16回
研修の主な内容：安全管理のための基本的考え方及び具体的方策について実施 医療事故防止の基本、インシデントレポートの報告の仕方、本院における医療安全の取り組み、インシデント・事故事例の分析手法、麻薬の取扱い	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
医療機関内における事故報告等の整備 (⑦・無) その他改善のための方策の主な内容 <ul style="list-style-type: none">・報告事例の分析を行い、事例に対応する事故防止のための研修会の開催、マニュアルの追加・医療機器の不具合情報を厚生労働省に報告するとともに院内にもリスクマネジメントニュースとして周知・報道された医療事故等の要約を全部署に配布し、事故防止について注意喚起している。・病棟巡視を行い、その結果を病棟に示し注意・改善を喚起している。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	⑦ (2 名) ・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	⑦ (1 名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	⑦・無

<p>所属職員： 専任（４）名 兼任（１０）名</p> <p>活動の主な内容（医療安全管理部規則）</p> <p>(1) 安全管理のための指針の整備及び情報収集に関すること。</p> <p>(2) 重要な検討内容について、患者への対応状況を含め病院長へ報告すること。</p> <p>(3) 重大な問題が発生した場合は、速やかに発生の原因を分析し、改善策の立案及び実施並びに職員への周知を図ること。</p> <p>(4) 医療事故の防止及び対策に係る調査・分析に関すること。</p> <p>(5) 改善策を立案すること。</p> <p>(6) 改善策の実施状況を必要に応じて調査し、見直しを行うこと。</p> <p>(7) 安全管理に関する教育・研修に関すること。</p> <p>(8) 安全管理に関する連絡調整に関すること。</p> <p>(9) その他安全管理に関すること。</p>	
<p>⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>有・無</p>

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的考え方2. 院内感染対策のための委員会その他組織に関する基本的事項3. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針6. 患者さんや第三者などに対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none">1. 感染の発生及びその感染経路の調査に関すること2. 感染予防に係る情報の収集に関すること3. 感染予防の実施、監視及び指導に関すること4. 感染症発生時の措置に関すること5. 院内職員の教育及び啓発に関すること6. 消毒剤等の使用に関すること7. 感染症専用処置室の運用に関すること8. その他感染予防に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年13回
<p>・ 研修の主な内容： 全職員に対して下記10のテーマで合計13回開催した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 今話題のアシネトバクターについて・ 院内感染対策・感染症における最近の話題 ～CDCガイドライン、HIV感染症などを含めて～・ これから流行するインフルエンザとノロウィルスの対策・ 入院患者さんの肺炎について・ 本院の感染対策の現状及び改善すべき点について・ 黄色ブドウ球菌と院内感染・ 感染症診断の基本・ 感染対策の基本である標準予防策について学ぶ・ 抗菌薬の基礎 - PK/PD理論の考え方・ 迅速検査を活用した感染症診断 <p>・ 研修医</p> <p>・ 新採用看護師</p> <p>・ 清掃業者</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 1. 感染情報レポートは、週報（毎週1回）、月報（毎月1回）、年報（毎年1回）作成し、感染症法に基づく病原体（MRSA、ペニシリン耐性肺炎球菌、感染性胃腸炎の病原菌、薬剤耐性緑膿菌、多剤耐性アシネトバクターなど）、β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性ヘモフィルス、3世代セフェム耐性基質拡散型β-ラクターゼ産生菌、クロストリジウム・ディフィシル菌、流行時期に応じてインフルエンザ、ノロウイルスなどの検出状況を示している。
 2. MRSAについては、サーベイランスを行い、感染と保菌、院内発生と持込を診療科別、病棟別に示している。
 3. これらの情報は、ベースラインを把握し、菌検出状況に応じて現場に出向き感染対策を徹底することによって、アウトブレイクの予防と早期察知に役立て、さらに感染対策実施状況の評価に活用している。
 4. 診療科、病棟、外来、検査部から専任感染対策マネージャーに報告。
 5. 専任感染対策マネージャーは直ちに部署に出向き、患者発生状況を調査する。
 6. 感染が拡大しないように具体的な感染対策を指導する。
 7. 接触者（患者、面会者、医療従事者）を確認し、必要な予防策を講じる。
 8. 医師、看護師、ICT合同カンファレンスを開催し、情報の共有と対策の徹底を図る。
 9. 随時専任感染対策マネージャーから感染対策委員会委員長に報告する。
 10. 各診療科、病棟から所属長に報告する。
 11. ICTに報告が必要な病原体として、血液培養陽性、多剤耐性緑膿菌、多剤耐性アシネトバクター、バンコマイシン耐性腸球菌、基質拡散型β-ラクターゼ産生菌、ペニシリン耐性肺炎球菌、クロストリジウム・ディフィシル菌、下痢および嘔吐、食中毒、結核および結核の疑い、インフルエンザ、麻疹、水痘・带状疱疹、風疹、流行性耳下腺炎、流行性角結膜炎、百日咳、疥癬をあげている。
 12. 診療科、病棟、外来、検査部から専任感染対策マネージャーに報告があれば、
 - ①専任感染対策マネージャーは直ちに部署に出向き、患者発生状況を調査する
 - ②感染が拡大しないように具体的な感染対策を指導する
 - ③接触者（患者、面会者、医療従事者）を確認し、必要な予防策を講じる
 - ④医師、看護師、ICT合同カンファレンスを開催し、情報の共有と対策の徹底を図る
 - ⑤随時専任感染対策マネージャーから病院長（感染対策委員長）に報告する
 - ⑥各診療科、病棟から所属長に報告する必要に応じて保菌者スクリーニング、環境培養、詳細な疫学調査を実施する
 13. 週1回、感染対策ラウンド
 14. 週1回、感染症カンファレンス
 15. 全部署の速乾性手指消毒薬使用量のモニタリング

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年12回
<p>・研修の主な内容：(H22年度)</p> <p>医薬品安全管理の研修会</p> <ul style="list-style-type: none">・麻薬の管理について・静脈注射について・疼痛マネジメント(緩和ケア)・内服薬処方せんの記載方法の標準化に向けた取り組みについて等・抗菌薬の適正使用に向けて(感染対策)	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">① 医薬品の採用・購入に関する事項② 医薬品の管理に関する事項③ 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤までに関する事項④ 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項⑤ 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項⑥ 他施設(医療機関、薬局等)との連携に関する事項⑦ 医薬品安全性情報等の管理体制の充実に関する事項	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">D I ニュースの発行(年3~4回発行)医薬品・医療機器等安全性情報の発行(年11~12回発行)IMIS 掲示板および全学グループウェアの掲示板(web)薬剤管理指導業務連絡会(毎月)各種勉強会、講習会等	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>全職員・新人看護師・研修医等に対する、安全使用に関して技術の習得が必要と考えられる機器等の、適正な使用方法とインシデント対策等に関する定期研修、及び新しい医療機器の導入時の操作方法等に関する研修を実施。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>特に安全使用に関して技術の習得が必要と考えられる機器を含む、人工呼吸器、人工心肺装置、輸液ポンプなどの機器類の定期点検、日常点検等を実施し、コンピュータ化されて機器名、型式等が入力されている機器台帳により個々に記録管理し、かつ保守点検計画を策定。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>使用部署に取扱い説明書等を整備。医療機器製造販売業者等から収集した安全情報は、病院の電子掲示板により周知を図るが、緊急を要する場合は、直接関係部署に出向き、説明し情報を伝え対応をとる。また、院内医療機器のインシデントの報告に対し、その安全対策・改善策を周知し実施する。さらに、医療機器の不具合は病院管理者への報告を通して、医療機器安全性情報報告書を原則として厚労省に提出する。</p>	